

産総研地質調査総合センター135周年記念事業

第26回地質調査総合センターシンポジウム

富士山 5,000m の科学

—駿河湾北部の地質と自然を探る—

東京 2017年
10月10日 火

会場：イイノホール&カンファレンスセンター Room A
(東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4階)

時間：14:00～17:50 (受付開始 13:30)


定員：210名 (事前登録制)

申込：下記 WEB サイトをご覧ください

<https://www.gsj.jp/researches/gsj-symposium/sympo2526/>



参加費
無料

[主催]  国立研究開発法人
産業技術総合研究所
 地質調査総合センター

※CPD：3.5単位

事務局：研究戦略部研究企画室国内連携グループ
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第7
TEL：029-861-3540

深海から富士山頂まで
標高差5,000mを科学する。

発表

海陸シームレス地質情報集
「駿河湾北部沿岸域」の成果と急務の課題
尾崎正紀 (産総研 地質情報研究部門)

静岡県富士川河口域における
二次元反射法地震探査
横田俊之 (産総研 地圏資源環境研究部門)

駿河湾海底下に眠る沿岸部の
地形変動史、活断層
佐藤智之 (産総研 地質情報研究部門)

陸上に延びる駿河湾の地質構造
—富士川河口断層帯周辺の地形と地質—
山崎晴雄 (首都大学東京 名誉教授)

富士火山地質図から見た噴火の特性
講演者調整中

富士山の地下水を探る
小野昌彦・井川怜欧・町田 功・丸井敦尚
(産総研 地圏資源環境研究部門)

「想像力の欠如」に陥らない防災を
岩田孝仁 (静岡大学 教授)

ポスター

浮島ヶ原の沈降が示唆する
富士川河口断層帯の活動
藤原 治・藤野滋弘・小松原純子・守田益宗 ほか